

## 予約型乗合タクシーの実証運行の検証方法

### 1. 検証に使用するデータ項目（案）

予約型乗合タクシーの実証運行の検証として、奈良県のコミュニティバス維持指標例を参考に、次に示す利用状況等のデータを収集・分析する。

表 予約型乗合タクシーの検証に使用するデータ項目

分析の視点	指標・データ	現況値（H30 データ）	備考	
公共性の視点 (需要など)	1日あたりの利用者数	E) 1.99 人/日	便別データ、バス停別データ	
		F) 3.33 人/日		
	沿線世帯数あたり利用者数	E) 0.44 人/年・世帯		運行対象となる主な大字で評価
		F) 1.24 人/年・世帯		
利用者評価（※1）	E) —	アンケート調査や聞き取り調査の実施		
	F) —			
経済性の視点 (効率性も)	収支率（※2）	E) 1.4%		
		F) 2.9%		
	利用者1人あたりの行政負担額（※2）	E) 7,024 円/人		
		F) 3,413 円/人		
	実際の運行回数（予約率）	E) —		日別データ、便別データ
		F) —		
	運行1回あたりの利用者数（乗合率）	E) —		日別データ、便別データ
		F) —		

※1：利用者評価の調査項目は、予約方法の評価（電話予約の煩雑さ等）、車両の評価（大きさ、乗り降りのしやすさ等）、運行内容の評価（バス停位置、運行時間帯、走行経路）、他の交通手段との接続状況の評価、予約型乗合タクシーに対する自由意見などを想定。また、利用者評価は、タクシー車内で、移動中に回答いただけるような簡易アンケートでの実施を想定。

※2：ルート別の支出額は、コミュニティバス全体の支出額に対して、運行距離で按分した数値を使用している。また、ルート別の収入額は、利用者数に100円を乗じた数値を使用している。データの出典は、平成30年12月第19回協議会の資料3を元に編集。

(参考)維持指標例(コミュニティバス) ～第3回協議会において了承～



■利用状況にかかる指標

項目	基準	考え方
①利用者数平均増減率(3ヶ年)	人口増減率以上	人口増減以上の利用者数の増減傾向にあるか
②運行1回当たりの利用者数	1人超	乗合手段としては1人超の利用状況が必要

■運行経費にかかる指標

項目	基準	考え方
③収支率	20%以上	県内における有償運送における収支率平均(約17%)をもとに設定
④利用者1人当たりの運行経費	2,300円	県内乗合タクシー実施地区の1人当たり運行経費の平均値

図 奈良県でのコミュニティバスの維持指標例

(出典：奈良県地域公共交通網形成計画

別添\_奈良県地域交通改善協議会「診断及び協議・ワークショップのプロセス」)

## 2. 検証のためのフロー（案）

葛城市コミュニティバスや予約型乗合タクシーは、次の検証の流れに沿って評価・分析・検討を行う。

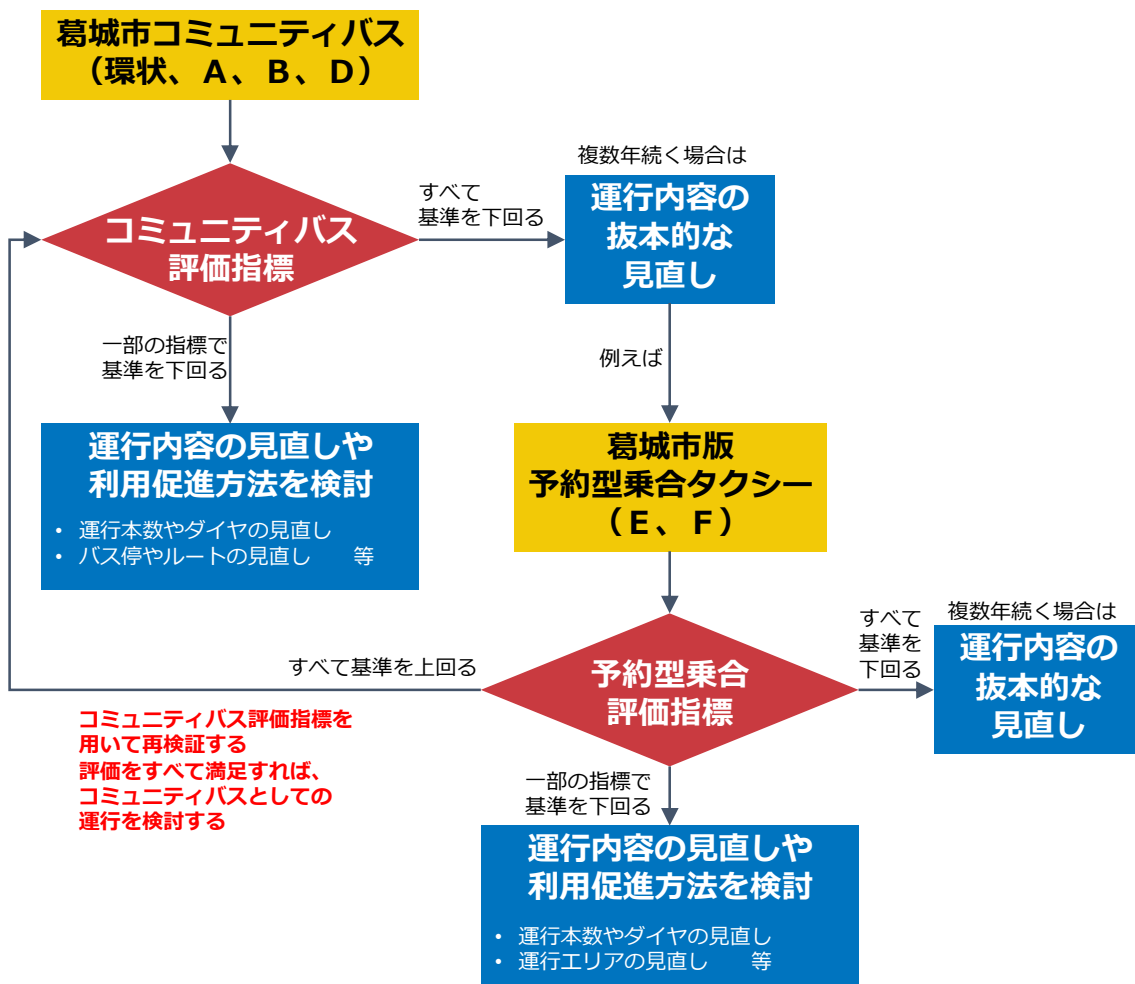


図 葛城市の公共バスの検証の流れ

表 評価指標の案

分析の視点	コミュニティバス	予約型乗合
公共性の視点 (需要など)	1日あたりの利用者数（便別、バス停別でも評価）	
	利用者数平均増減率	
	沿線世帯数あたり利用者数	
経済性の視点 (効率性も)	収支率	
	利用者1人あたりの行政負担額	
	—	実際の運行回数（予約率）
	—	運行1回あたりの利用者数（乗合率）